





QAW Ver.3.5 正誤表

2009年3月27日 クオリティ株式会社

マニュアルの内容に誤り、追記事項があります。下記、正誤対象表をご確認ください。

■ 追補マニュアル

ページ	見出し	誤		正
12	2-1. QNDサーバ	右の記述を追記	→	QNDサーバをインストールするPCには、.NET Framework2.0以上が必要です。
13	2-2. コンソール	右の記述を追記	→	ViperコンソールをインストールするPCには、.NET Framework2.0以上が必要です。
31	4-1. バージョンアップについて	右の記述を追記	→	なお、QNDサーバをバージョンアップするPC、およびコンソールをバージョンアップしてViperコンソールを新規インストールするPCには、.NET Framework2.0以上がインストールされている必要があります。
61	5-4. Windows ファイアウォール設定変更プログラム 表内「項番」の②	引数“/VP:xxx”の追加 “/VP:xxx”は、Viperノードサーバが使用するポートをカスタマイズしている場合に使用する。“xxx”の部分に入力したポート番号が、Viper用として例外登録される	→	引数を指定しないで実行した場合、または“/APP”、“/QND”、“/QNDAPP”の引数追加で実行した場合、“(Viperノードサーバのインストールディレクトリ)¥Viper¥ViperNodeServer¥ViperNodeServer.exe”が例外アプリケーションとして登録される。ただし、実行するPCにViperノードサーバがインストールされている必要がある
62	5-4. Windows ファイアウォール設定変更プログラム MEMO「Viperノードサーバについて」	右の記述を追記	→	Windows ファイアウォール設定変更プログラムを利用して設定する場合は、必ずViperノードサーバをインストールしたあとでプログラムを実行してください。インストールしていない場合は、例外登録されません。
62	5-4. Windows ファイアウォール設定変更プログラム 表内「引数」/QNDの実行結果	・Viperノードサーバ用ポート(TCP:27800)、snmp (UDP 161)の例外登録	→	・Viperノードサーバ (ViperNode Server.exe)、snmp (UDP 161) の例外登録
62	5-4. Windows ファイアウォール設定変更プログラム 表内「引数」/QNDAPPの実行結果	・Viperノードサーバ用ポート(TCP:27800)、snmp (UDP 161)の例外登録	→	・Viperノードサーバ (ViperNode Server.exe)、snmp (UDP 161) の例外登録
62	5-4. Windows ファイアウォール設定変更プログラム 表内「引数」/VP:xxx	/VP:xxx	→	<削除>
64	5-4. Windows ファイアウォール設定変更プログラム 表下説明	*1 “/APP”、“/QND”、“/QNDAPP”、“/VP:xxx”、“/RCTCP:xxx”、“/RCUDP:xxx”のいずれかと併用する必要があります。	→	*1 “/APP”、“/QND”、“/QNDAPP”、“/RCTCP:xxx”、“/RCUDP:xxx”のいずれかと併用する必要があります。
126	未知のホスト 表内「通信状態」の表示内容	開放： 	→	解放： 

ページ	見出し	誤		正
127	全てのホスト 表内「通信状態」の表示 内容	開放： 	→	解放： 

■ Windows ファイアウォール設定変更プログラム – 利用マニュアル –

ページ	見出し	誤		正
2	1. はじめに	Windows XP SP2、Windows XP SP3、Windows Vista、Windows Server 2003、Windows Server 2008では、Windows ファイアウォールが自動的に設定され、特定のポートを利用しているアプリケーションの通信がブロックされます。	→	Windows XP SP2、Windows XP SP3、Windows Vista、Windows Server 2008では、Windows ファイアウォールが自動的に設定され、特定のポートを利用しているアプリケーションの通信がブロックされます。
9	3-1 引数	右の記述を追記	→	QAW/QNDにおいて引数を指定しないで実行した場合、または“/APP”、“/QND”、“/QNDAPP”の引数追加で実行した場合にViperノードサーバ (ViperNodeServer.exe) が例外登録されるには、実行するPCにViperノードサーバがインストールされている必要があります。
10	3-1 引数 表内「引数」/QNDの実行結果	▶ Viperノードサーバ用ポート (TCP:27800)、snmp (UDP 161) の例外登録	→	▶ Viperノードサーバ (ViperNodeServer.exe)、snmp (UDP 161) の例外登録
10	3-1 引数 表内「引数」/QNDAPPの実行結果	▶ Viperノードサーバ用ポート (TCP:27800)、snmp (UDP 161) の例外登録	→	▶ Viperノードサーバ (ViperNodeServer.exe)、snmp (UDP 161) の例外登録
10	3-1 引数 表内「引数」/VP:xxx	/VP:xxx	→	<削除>
11	3-1 引数 表下説明	*1 “/APP”、“/QND”、“/QNDAPP”、“/VP:xxx”、“/RCTCP:xxx”、“/RCUDP:xxx”のいずれかと併用する必要があります。	→	*1 “/APP”、“/QND”、“/QNDAPP”、“/RCTCP:xxx”、“/RCUDP:xxx”のいずれかと併用する必要があります。